

みやもと陸の政策提言 Ver. 2

5つの地域経営ビジョンと25の施策 評価報告（中間）

宮元陸・加賀市長公約評価委員会

牧瀬 稔

makise@kanto-gakuin.ac.jp

<https://www.makise.biz>

1

牧瀬稔 →→→ どんな人？

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。博士（人間福祉・法政大学）。博士論文は「地方自治体における環境協働の研究— 環境再生行動を通じた自治体と住民の新たな協力関係 —」というテーマで作成した。

民間シンクタンク、横須賀市都市政策研究所（横須賀市役所）、（公財）日本都市センター研究室（総務省所管）、（一財）地域開発研究所（国交省所管）を経て、2017年4月より、関東学院大学法学部地域創生学科准教授。社会情報学大学院大学特任教授、東京大学高齢社会研究機構客員研究員、沖縄大学地域研究所特別研究員、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師等を兼ねる。

今年度は、北上市、中野市、日光市、戸田市、春日部市、東大和市、新宿区、東大阪市、西条市などの政策アドバイザーとして関わっている。また、株式会社読売広告社シビックプライド・リサーチのアドバイザーもしている。

審議会等では、厚木市自治基本条例推進委員会委員（会長）、相模原市緑区区民会議委員（会長）、事業構想大学院大学「シティプロモーション研究会」委員（座長）、厚生労働省「地域包括マッチング事業」委員会委員、スポーツ庁参事官付技術審査委員会技術審査専門員などの委員に就いている。

2

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

本日の内容

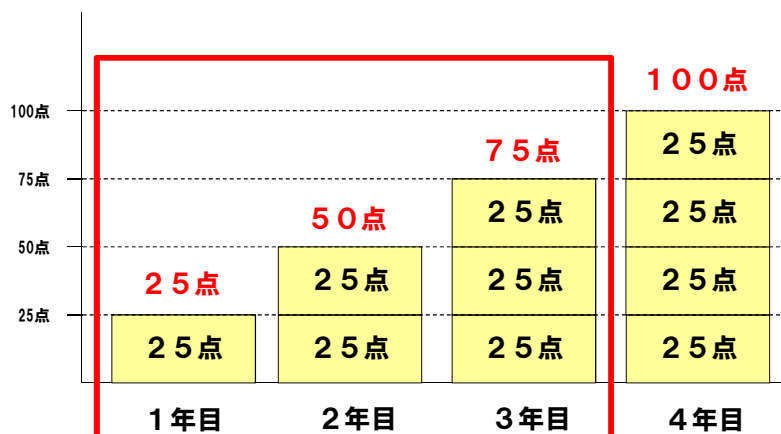
- ① 評価方針
- ② 評価基準
- ③ 評価結果
- ④ おわりに



上記の4点から、宮元陸・加賀市長の公約の達成状況を評価します。

3

及第点の一つの視点



今回は、2017年11月～2019年7月（H29.11～R1.7）までの**1年8ヶ月**が評価期間となる。

過去の事例(評点)

◎横須賀市長(過去3年)	80.8	点
◎小田原市長(過去3年)	80.8	点
◎小山町長(過去2年)	72.6	点
◎川口市議会・自民党川口市議員団(過去3年)	88.1	点
◎民主党さいたま市議団(過去3年)	82.0	点

5

評価結果

●合計点

178.6点 / 240点

●達成率

74.4% / 100%

2017年11月～2019年7月(H29.11～R1.7)までの1年8ヶ月が評価期間となる。

100点満点で74.4点であり、折り返しとしての総合評価は「**良好な結果**」と判断される(及第点である)。

6

1 評価方針

(1) 評価対象

- ・ 宮元陸・加賀市長の公約「みやもと陸の政策提言 Ver.2 5つの地域経営ビジョンと25の施策」は、Vision1からVision5までである。その中で評価すべき項目は合計48項目ある(48項目×5点＝240点満点)。
- ・ これらの項目(公約)を評価するために「宮元陸・加賀市長公約評価委員会」を組織した。
- ・ 各Visionの「点数」と「達成率」を評価結果とした。達成率を「100点満点で何点か」と捉えてよい。
- ・ Vision1からVision5のそれぞれの合計点は異なっている。例えば、「Vision1未来を切り開くイノベーションシティ」は35点満点であり、「Vision2未来を切り開くイノベーションシティ」は70点満点である。各Visionの項目数が異なるため、満点も異なってくる。

7

1 評価方針

(2) 評価の進め方

- ① 加賀市から、公約に掲げられた48項目について、原則として2017年11月～2019年7月における進捗状況の資料を作成いただいた。その資料を評価資料として活用した(1年8ヶ月が評価期間となる)。
- ② ①の評価資料に加え、各評価者が、適宜、加賀市のホームページ等から資料を入手し、評価のための補足資料とした。
- ③ 各評価者が評価結果をだしたあと、合議により、最終的な評価を決定した。

8

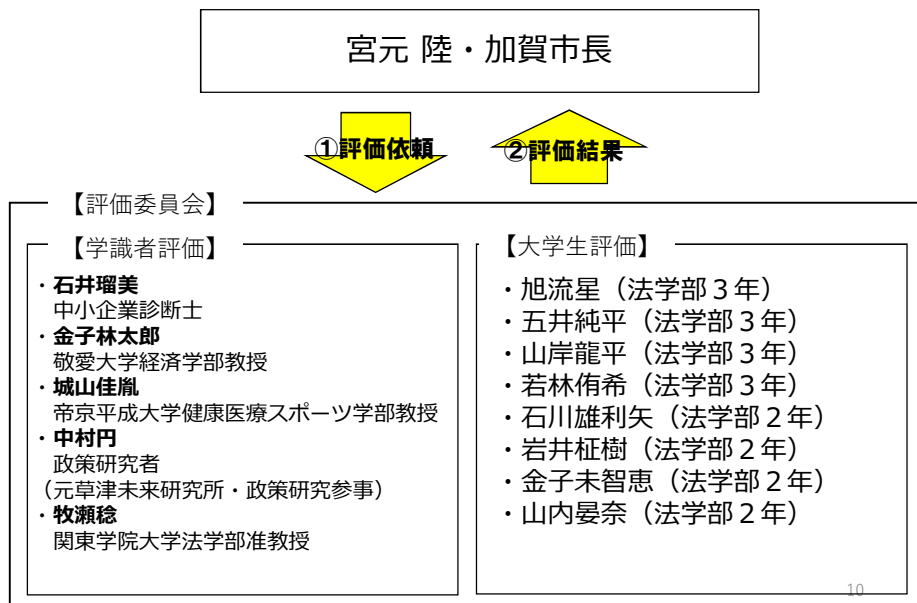
1 評価方針

(3) 評価方法

- ・ 宮元陸・加賀市長公約評価委員会を組織し、Vision5 48項目について、各評価者(5名)が個別に評価を行った。
- ・ その後、合議により最終的な評価結果を決定した。
- ・ 各評価者は各項目について5点満点で採点するとともに、評価結果の理由を明示した。
- ・ また参考として大学生(8名)による評価も実施している。
- ・ 大学生は1項目あたり2名で評価した(それぞれ担当を決めて評価した)。

9

みやもと陸の政策提言「加賀は変わる。」評価体制



2 評価基準

- 公約に掲げられた各項目の中で、条例制定関係以外については「評価基準①」を設定した。
- 条例関係については「評価基準②」を採用している。
- ただし、今回は「評価基準②」による評価はなかった(前回の公約は、中小企業振興条例、公契約条例、教育を振興するための条例があった)。
- 今まで、上記の評価基準を用いて、様々な首長マニフェスト等を評価している(他首長の評価結果と比較できるという利点がある)。

11

2 評価基準 評価基準①

評点	基 準
0点	施策・事業に着手していない段階、かつ予算等の措置を講じていない段階
1点	具体的に検討中(例: 検討会議の開催)、または予算の目途が立った段階
2点	施策・事業に着手済～4分の1程度を達成したと判断される段階
3点	施策・事業について、2分の1程度を達成したと判断される段階
4点	施策・事業について、4分の3程度を達成したと判断される段階
5点	施策・事業をほぼ達成したと判断される段階

12

2 評価基準

評価基準②

評点	基 準
0点	全く検討していない段階
1点	検討のための組織(例:検討会議の開催)を設置し、検討を行っている段階
2点	条例素案を公表した段階・パブリックコメント手続を実施している段階
3点	条例案を議会に提出した段階
4点	条例案が議会で可決された段階(条例公布)
5点	条例が施行された段階(条例施行)

この評価基準を用いて、過去、小田原市長、厚木市長など、さまざまな首長や議会(会派)を評価している。

13

2 評価基準

評価基準

＜各項目の評価基準のイメージ＞

5点	全て達成
4点	4分の3程度達成
3点	2分の1程度達成
2点	4分の1程度達成
1点	検討段階
0点	

14

評価結果（再掲）

●合計点

178.6点 / 240点

●達成率

74.4% / 100%

2017年11月～2019年7月（H29.11～R1.7）までの1年8ヶ月が評価期間となる。

100点満点で74.4点であり、折り返しとしての総合評価は「**良好な結果**」と判断される（及第点である）。

15

3 評価結果

Vision1 未来を切り開くイノベーションシティ

72.0点

7項目あり、35点満点で、25.2点（72.0%）という結果である。

及第点である。その中で、各項目みると「国内外の大学と連携し、IT技術を活用した地域課題の解決に向けた事業の実証実験に取り組みます」が2.4点であり、「次世代農業を目指し、ぶどうやなしをはじめとしたスマートアグリに取り組みます」が2.6点と低い。

16

3 評価結果

Vision2 人財を輩出し、人財が集う先端教育都市

75.7点

14項目あり、70点満点で、53.0点(75.7%)という結果である。

この分野も及第点である。全体的によい点をつけているが、「プログラミング教育を強化するとともに、科学技術人材を育成するため、科学と数学を基礎として展開するSTEAM教育の充実を図ります」が2.6点と低い項目もある。

17

3 評価結果

Vision3 世界から選ばれる温泉共創地

72.6点

13項目あり、65点満点で、47.2点(72.6%)という結果である。

この分野も及第点である。すべての項目が3.4点から4.2点に入っている。3.4点は「インバウンド推進体制を強化するとともに、受け入れ環境整備や情報発信などをより戦略的に進め、海外からの観光客数 10 万人を目指します」や「「柴山湯遊歩観光ルートプロジェクト」、「ガーデンシティ構想」の推進など魅力ある景観づくりに取り組みます」などがある。

18

3 評価結果

Vision4 人生100年時代に備えるまち

84.4点

10項目あり、50点満点で、42.2点(84.4%)という結果である。

このVision4は特によかった。評価が低かったのは「誰もが安心して生活できる地域共生社会の実現を目指し、IoT、AIなどによる障がい者支援「スマートインクルージョン」を推進します」であり、3.4点であった。

19

3 評価結果

Vision5 先進政策・実証都市

55.0点

4項目あり、20点満点で11.0点(55.0%)という結果である。

Vision5は、道半ばという印象である。「里山の原風景の魅力を効果的に情報発信し、アーティストなどを呼び込む「新里山構想」を推進します」と「加賀市版スマートシティ」の実現に向け、エネルギーマネジメントシステムの導入に取り組みます」は、ともに2.4点であった。

20

3 評価結果

Vision	項目数	満点	点数	達成率
Vision 1 未来を切り開くイノベーションシティ	7	35	25.2	72.0%
Vision 2 人財を輩出し、人財が集う先端教育都市	14	70	53.0	75.7%
Vision 3 世界から選ばれる温泉共創地	13	65	47.2	72.6%
Vision 4 人生100年時代に備えるまち	10	50	42.2	84.4%
Vision 5 先進政策・実証都市	4	20	11.0	55.0%
合計	48	240	178.6	74.4%

21

評価結果（再掲）

●合計点

178.6点 / 240点

●達成率

74.4% / 100%

2017年11月～2019年7月（H29.11～R1.7）までの1年8ヶ月が評価期間となる。

100点満点で74.4点であり、折り返しとしての総合評価は「**良好な結果**」と判断される（及第点である）。

22

大学の成績評価に当てはめると・・・

B

点数	評価		コメント
100～90点	S	秀	特に優れた成果を残した公約（マニフェスト）
89～80点	A	優	優れた成果を残した公約（マニフェスト）
79～70点	B	良	妥当と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
69～60点	C	可	合格と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
59点以下	D	不可	合格と認められる成果を残していない公約（マニフェスト）
未評価	F	未評価	公約（マニフェスト）を実施したには値しない

23

有識者評価のまとめ

- 前提として評価の対象となった期間が1年8ヶ月であり、「中間」という位置づけである。
- 中間の評価という意味では（1年8ヶ月の期間の評価では）、「B」は決して悪いわけではない。
- 今後は、残りの任期でA評価やS評価を目指してもらいたい。
- 各項目により、ムラのある印象を持つ。進んでいる項目と、停滞している項目がある。
- 特に評価が低い項目については、低い理由を明確にして、残りの任期で挽回していただきたい。

24

【参考】大学生評価



牧瀬ゼミナール in 伊那市合宿

25

【参考】評価結果

●合計点

162.5点 / 240点

●達成率

67.7% / 100%

2017年11月～2019年7月（H29.11～R1.7）までの1年8ヶ月が評価期間となる。

100点満点で67.7点である。有識者による評価と比較すると、やや厳しい結果となった。

26

【参考】評価結果

Vision	項目数	満点	点数	達成率
Vision 1 未来を切り開くイノベーションシティ	7	35	26.5	75.7%
Vision 2 人財を輩出し、人財が集う先端教育都市	14	70	46.0	65.7%
Vision 3 世界から選ばれる温泉共創地	13	65	45.5	70.0%
Vision 4 人生100年時代に備えるまち	10	50	35.5	71.0%
Vision 5 先進政策・実証都市	4	20	9.0	45.0%
合計	48	240	162.5	67.7%

27

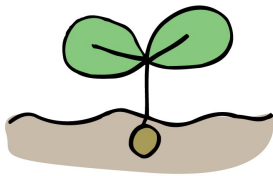
おわりに

- ・ 評価結果は、100点満点で74.4点となった。1年8ヶ月という期間が評価の対象と考えるならば、合格点である。
- ・ 各項目の最高点は4.6点であり、最低点は2.4点であった(5点満点)。平均は3.72点である。
- ・ 4点台は22項目、3点台は20項目、2点台は6項目となっている。
- ・ 2点台については、中間の折り返しにおいても、やや対応が遅れていると判断できる。残りの任期で、これらの項目の挽回に期待したい。
- ・ 特に「Vision5 先進政策・実証都市」の評価が低くなっているため、先進自治体を目指して、公約の確実な実行を望みたい。

28

ありがとうございました。

ご意見・ご質問などは、
makise@kanto-gakuin.ac.jp にご連絡下さい。



29